

渡部英治県政

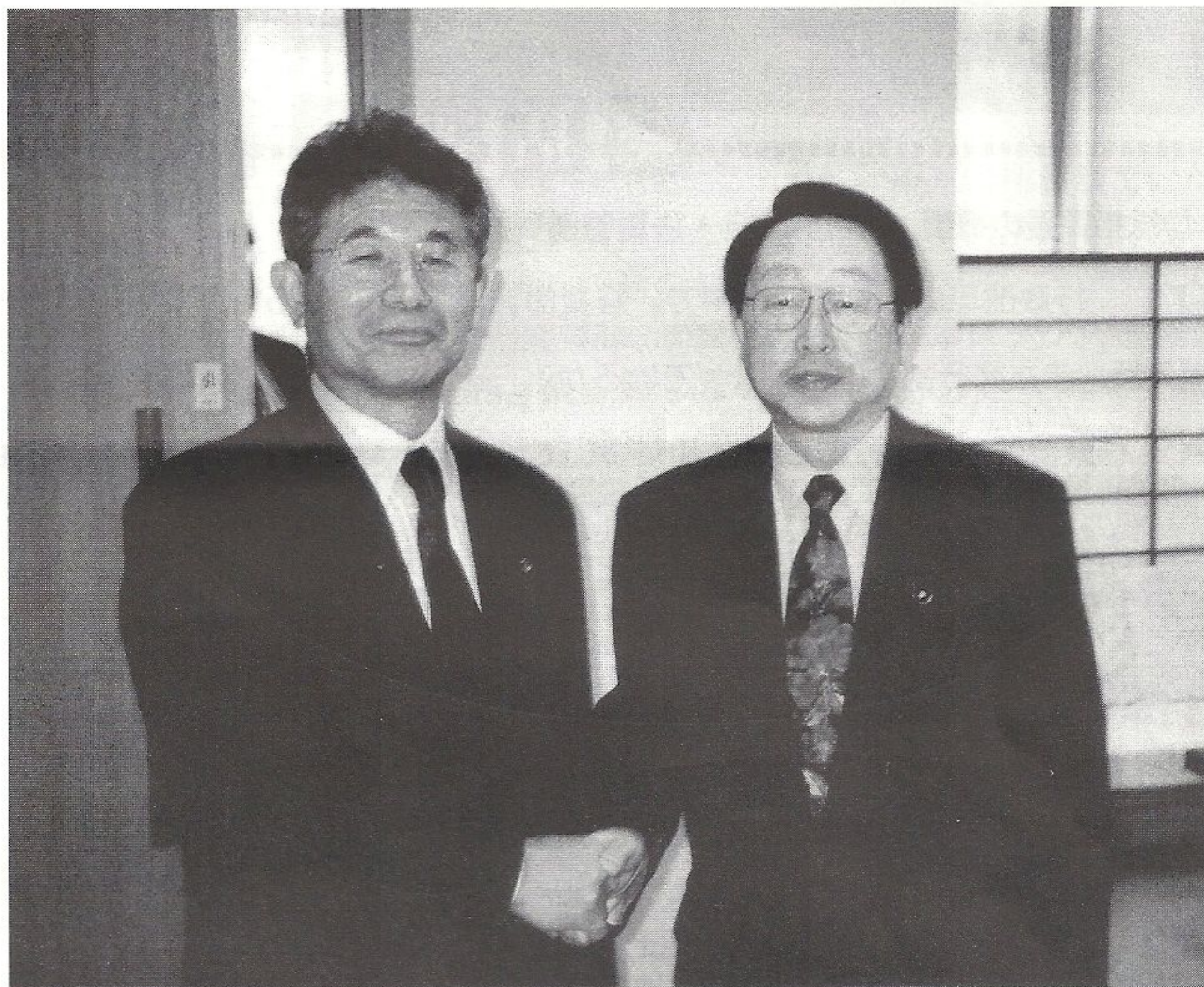
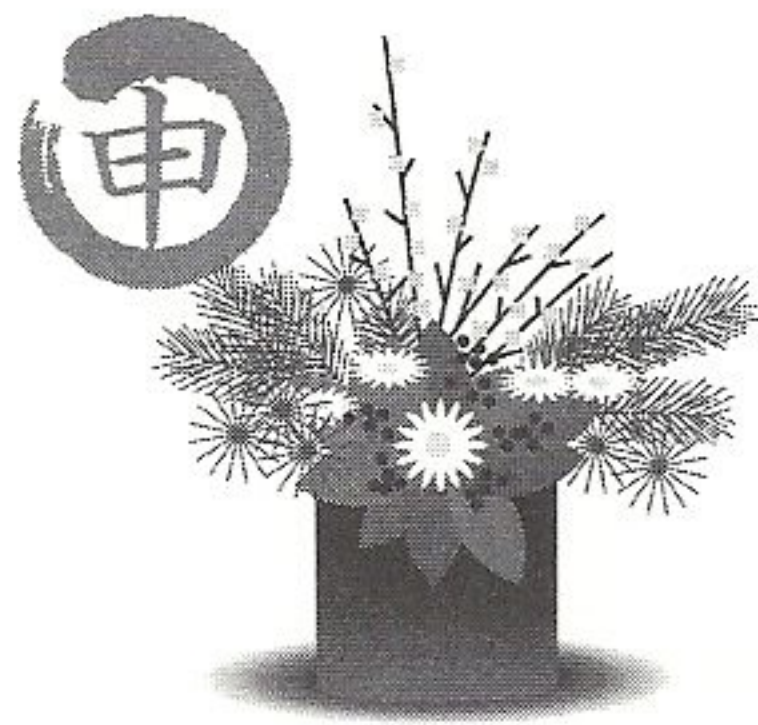
だより

討議資料

〈第2号〉

2004年1月

迎春



寺田知事と信頼の握手

新年明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。今年もよろしくお願い致します。昨年を振り返りますと、国内外を問わず激動と変化の年であり、大曲仙北においても長びく不況に加え、異常気象による農作物への影響など、明るいニュースが極めて少ない1年であったと思います。

私自身としては、県議会第2会派の「みらい21」に所属し、県政での一定の発言力を持つことができたと思います。また、6月定例議会での初質問や決算特別委員会での総括質疑と賛成討論を行うこともでき、充実した年でありました。

これもひとえに、ご支援を頂いた後援会や地元の皆様のお力添えのお陰と、心から感謝いたしております。

さて、今日の私達を取り巻く状況は、急激な変化を重ねるなか、福祉、年金、医療、教育そして雇用などの諸課題に加え、少子高齢化と市町村合併という大きな課題が山積しております。

私は県政の場で、住民の付託に応え、県民生活の向上と「元気の出る大曲・秋田」の実現のため、更に努力を重ねる所存でありますので、皆様の倍旧のご支援を賜りますようお願い致します。

今年が皆様にとりまして最良の年となりますようお祈り申しあげ、年頭にあたってのご挨拶といたします。

秋田県議会議員 渡部英治



わたなべ英治県政報告会
新春の集いのご案内

とき 平成16年1月24日(土) 午後4時
ところ 大曲エンパイヤホテル
会費 4,000円

※この記事をもってご案内の通知に代えさせていただきます。入場券のお求めは、わたなべ英治後援会までお願いいたします。(当日参加可)



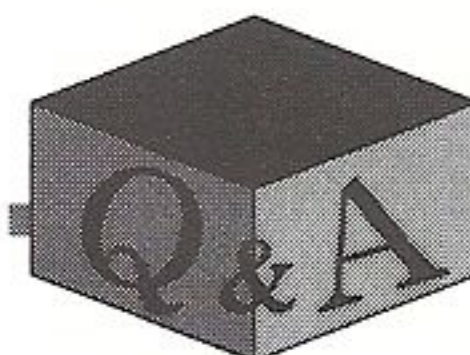
決算への賛成討論をする渡部県議

● 渡部県議が14年度決算へ賛成討論（12月定例議会）

渡部県議は、平成14年度秋田県歳入歳出決算について共産党県議の反対討論に続いて「みらい21」会派を代表して、賛成討論を行った。2人の討論の後、賛成多数で14年度決算は認定されました。

なお、討論・採決に先立ち実施された決算に対する統括質疑についても併せて、その主な概要をご報告いたします。

総括審査



◎総括質疑の概要（11月28日・決算特別委員会）

Q 1 行政改革の取り組みの中で、経費節減について、14年度決算額の県債の新規発行額と借入額、また発行割合はどうなっているか。

A 1 県債の新規発行額と借入額については、行（総務部長）革プログラムでは、県債の新規発行額を予算総額の10%以内に抑えることを目標としているが、平成14年度の県債発行額は1,506億2千万円で、そのうち「臨時財政対策債」や「減税補てん債」など国の事情に基づいて発行する県債等を除いた新規発行分は689億9千万円で、歳入決算額7,654億1千万円に占める新規発行割合は9.0%となっており、目標は達成できた。

Q 2 組織・機構改革と人員削減はどのような状況か。

A 2 組織・機構の再編については、平成15年4月（総務部長）月から出先機関を統合し、地域振興局を設置した。組織・機構改革の取り組みや全体的な定員適正化計画の推進と合わせ、平成15年4月1日までに、計画を上回る362人の削減を図った。

Q 3 林業公社の整理合理化について、県が100%（渡部委員）出資しており、行革の重点推進事項だと思ふ。運営体制の抜本的改革が必要ではないか。事業収入はわずかで、県費を323億円も充当している。職員の高齢化など、さまざまな課題を抱えている。改革の取り組み状況と、今後の見通しはどうか。

A 3 林業公社については、三セクの中でも最大（知事）の課題と認識している。340億円の借り入れがあり、資産は現在8億円程度である。このままの経営スタイルでは、採算は悪化する。県の貸付金の利息を1%等から無利子にするなどの検討もし、いろいろな面で早急に手をつけたい。年度内に新たな経営改善策に着手し、議会にも報告したい。

Q 4 林業には県土の保全や環境保全などの大目（渡部委員）的がある。将来に向けて存在価値は重要と考える。長期計画の中で、林業をどう捉えるか、公社は単に縮小でいいのか。

A 4 秋田は森林県であり、森林面積23万haのうち（知事）公社林が2.4万haを占めているが、林業行政の中で、公社の負担は大きな問題である。過去からの問題も含め、決して悲観的ではなく、より活用できるよう、積極的に課題解決に取り組んでいきたい。

Q 5 財政の健全化について、行革プログラムに（渡部委員）おいての行政システムの構築については、どういう状況か。

A 5 第2期行革プログラムによる取り組みについて（総務部長）は、時代のニーズに対応した組織機構の見直し、政策評価制度の充実と施策重点化の仕組みづくり、職員数の縮減、人事給与制度の見直し、業務改善の推進など、行政システム全般にわたっての改革に取り組んできた。こうした結果、経常収支比率は、全国で上位から18番目、決算総額に占める人件費と物件費を加えた経費の割合は2番目に低いなど、着実に成果を上げてきたものと考えている。

Q 6 第3子以降、第1子ゼロ歳児保育料無料化の（渡部委員）効果はどうか。

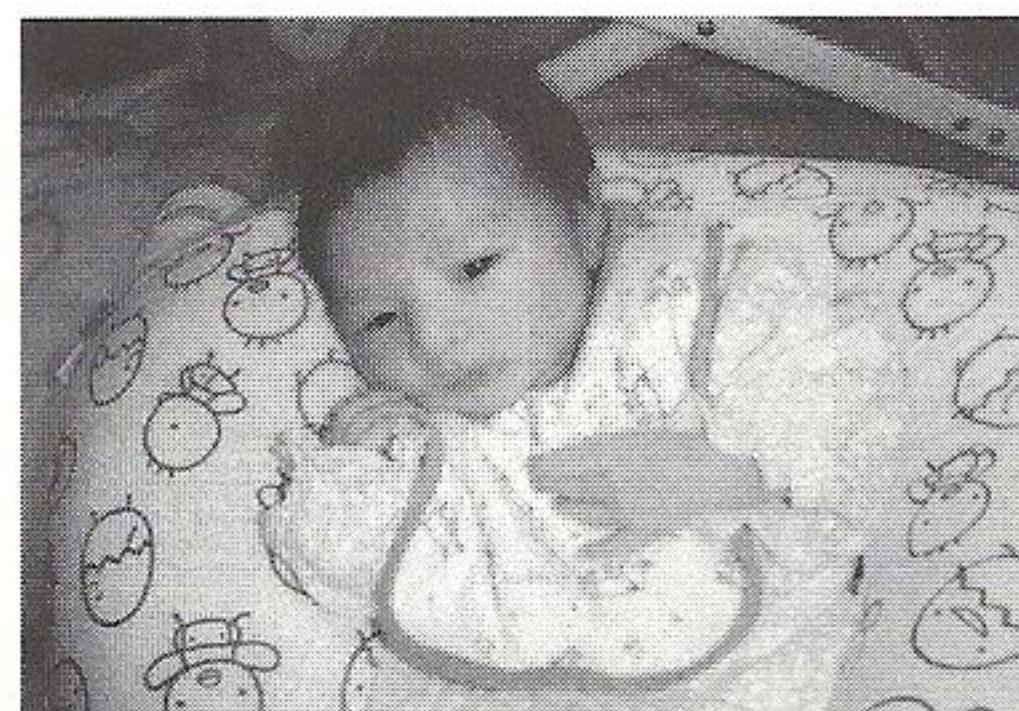
A 6 現実に対象児童数は減少傾向にあるが、経（健康福祉部長）済的支援策で子育て支援を進めるのは困難である。しかし、全国の出生率の減少傾向に比べ、本県は鈍化しており、その点は評価したい。また、アンケート調査によると、8割がこの事業を評価して良いと考えている。

第1子ゼロ歳児の保育料無料化は今年度から実施され、今年度は830人程度を見込んでいたが、870人ぐらいの利用が見込まれ、予想を上回る。また、1町を除く68市町村で実施体制ができています。アンケートによると、対象年齢の引き上げや第2子への拡充を望む声が出ており、現在、経済的支援策全体での検証を進めている。

Q 7 この事業は好評であり期待もしている。夕（渡部委員）イミング良いのか1時間前、2番目の孫が生まれた。一般質問でも要望している通り年齢の拡大と第2子への対象拡大をお願いしたい。本県は、国に先駆ける子育て支援の先進県である。是非、前向きに検討していただきたい。

A 7 まずは、おめでとうございます。（会場内爆笑!!）

（知事） 少子化対策は、経済的負担の軽減、子育ての社会化、男女共同参画の推進を含めて社会システムを変えることであり、大きな課題である。全力で取り組んでいきたい。



渡部県議の2人目の孫（11月28日誕生・風河君）

賛成討論

◎賛成討論の概要（12月3日・本会議）

平成14年度は、県政運営の柱となる「あきた21総合計画」の「前期実施計画」の最終年度であり、また「第2期行政改革推進プログラム」の初年度として、農政部と林務部の統合や予算の重点配分など、新しい取り組みなどを行った年でもあります。

また、議会の議論の中でもここ数年にわたって激しく意見を戦わせてきた国際系大学問題についても、その構想を推進すべきとの立場で、一定の方向性が示された年でもあったと認識しております。

その様なことを踏まえ、我が会派としては平成14年度決算について、監査意見書にあるように、一部に不適正な事務処理や予算執行があったものの、おおむね妥当であり、各種施策・事業の成果を評価するものであります。以下4点について賛成の立場から意見を申し述べます。

1. 財政の硬直化の問題について

景気の低迷が続く中、県税収の大幅な減少をはじめ各種財政指標の悪化や主要基金残高の減少、1兆円を超える県債残高の増嵩など、大変厳しい財政運営を強いられております。

さらに国による財政の「三位一体改革」の実施によって、結果的にその痛みが財政基盤の脆弱な地方に押しつけられることのないように、行財政改革の徹底と国に対する地方の主張をひるむことなく発信し続けるとともに、県民との協同による財政の健全化に努めることを強く要望いたします。

2. 第三セクターに対する県の係わりについて

特に秋田県林業公社や秋田内陸縦貫鉄道については、その経営内容が著しく悪化しており、自力での改善が困難と思われることから、早急に抜本的な対策を講じることが不可欠であります。

問題を先送りせず、しっかりとした方向性をできるだけ早く、議会や県民の前に示されるように要望いたします。

3. 韓国ソウルとの国際定期便と交流の促進について

いつまでも県費の投入が続けられるわけもなく、早急に実効の上がる対策や交流が求められています。

県では秋田・韓国交流促進チームを作って対策を実施していますが、その際に大事なことは、部局の壁を取り払い、様々な分野での交流を促進する柔軟な取り組みと、極力民間の力を生かしながら民間の発想を取り入れることを要望いたします。

4. 国際教養大学について

11月下旬に文部科学大臣より設置認可が下り、正式に来年4月に開学することが決まりました。

今後、全国から優秀な学生を集めて教育し、将来の秋田や日本を切り開く有為な人材をどう育てるのか。少子化時代に生き残れる大学としてどういう大学を作るのか。そして県費を投入する大学として、どのような地域貢献をしていくのか。

県当局においては、より一層気を引き締め「作って良かった大学」となるように強く希望します。

みらい21に女性県議入会!



これまで「社民党・新しい風」に所属していた、児玉祥子議員が会派を脱会し、12月17日に「みらい21」へ新たに入会しました。

児玉県議は、「みらい21の基本スタンスである、一党一派に偏しない各施策への是々非々で臨む姿勢に共鳴し、仲間の輪を広げながら新しい風を吹かせたいと思って決断した」と会派変更の理由を述べるとともに、女性議員の立場として、男女共同参画社会の実現や子育て支援の充実を推進したいとの抱負を熱く語ってくれました。

勿論、我々「みらい21」も全会一致で児玉議員の入会を歓迎したところであり、新たな意欲のもとで、県政の発展と県民生活の向上のため、政策提言やその実現に向けた努力を傾注する覚悟であります。今後とも「みらい21」をよろしく!

後援会の皆様と

六ヶ所原燃サイクル施設を見学

エネルギー問題についての政務調査活動の一環として、後援会有志の皆様と六ヶ所原燃サイクル施設の見学会を実施しました。

いま、新エネルギーやクリーンエネルギーの開発が重要な課題となっている中、日本で唯一の核燃料サイクル施設の見学は、今後の循環型社会の形成をめざした活動の大きな糧となりました。



六ヶ所原燃サイクル施設を見学

渡部県議に期待します！

秋田県副知事 **西村 哲 男**

(大曲市飯田出身)

新年明けましておめでとうございます。皆様には、県政の推進に特段の御協力をいただいておりますことにつきまして、この場をお借りし深く感謝を申し上げます。

渡部県議は、県議会常任委員会では教育公安委員会に所属し、議案や予算の審査に当たられ、的確な御意見や御提言をいただいております。

また、決算特別委員会の委員として、大曲市議会議員の経験を存分に発揮され、行政改革をはじめ財政問題等に積極的に御提言をいただき、平成14年度決算の認定にご尽力をいただきました。

渡部県議が所属されている「みらい21」は、若い

議員が多い清心澆刺たる会派であります。その中で渡部県議は会派の要となる方であり、寺田知事を始め、私どもが頼りとし、ご期待申し上げておる方でもあります。

厳しい財政のもとで、いま県政には、経済雇用対策、行財政問題など課題が山積みしております。こうした中で、渡部県議の高い識見と優れた手腕は、県政の発展のため、不可欠なものとなっております。渡部県議の信条であります「元気の出る大曲・秋田」の実現は、地元大曲の活性化から秋田県全体の活力につながっていくものであります。

渡部県議には、今後、ますますのお力添えをお願いするとともに、鋭い視点から政策への御提言をご期待申し上げます。



西村副知事と固い握手



奈良県議会視察での意見交換
(教育公安委員会・県外視察)



松くい虫被害現地調査
(みらい21会派研修視察)

英治の主な県議活動

- 8月11日～12日 みらい21会派研修視察
(松くい虫被害現地調査他)
- 9月2日～5日 教育公安県外視察(奈良県議会・京都県警他)
- 9月18日 9月定例議会(10月3日までの会期)
- 10月7日～8日 決算特別委員会(病院・企業会計審査)
- 10月21日～22日 教育公安県内視察
(県警機動捜査隊・能代東雲中学校他)
- 11月11日 臨時議会(病院・企業会計討論・採択他)
- 11月17日～26日 決算特別委員会(一般会計部局別審査)
- 11月28日 決算特別委員会(総括審査質疑)
※みらい21代表として総括質疑
- 12月2日 12月定例議会(12月17日までの会期)
- 12月3日 14年度一般会計決算討論・採決
※みらい21代表として賛成討論
- 12月19日 仙北地域振興局と地元県議団との情報交換会
- ※2月25日～3月23日 2月定例議会(予定)

《お問い合わせ》

わたなべ英治政策研究会

大曲市田町23-10(わたなべ英治後援会内)
TEL・FAX 0187-66-1700